



永福学園通信

令和5年9月29日

第5号

東京都立永福学園
校長 緒方 直彦

本校の防災教育について

本日、前期の終業式が行われました。今年度の学校生活の半分が終わり、子供たちの前期の成果と課題について通知表にてお伝えしました。御家庭でも頑張りをほめ、課題について励ましていただくなど、後期の意欲につながるようにしていただけるとよいと思います。

さて、今年はマグニチュード7.9と推定される巨大地震による関東大震災発生から100年の節目の年であり、改めて学校の防災対策について考えさせられる年となりました。この機会に、今回は本校で行っている防災教育について御紹介いたします。

防災教育は、防災に関する基礎的・基本的事項を系統的に理解することと、安全の保持増進に関する実践的な能力や態度を養うことなどがねらいとされています。防災教育の指導内容については、避難訓練により体験を通して実践的に理解を深めることが必要であり、本校でも毎月1回の避難訓練を設定して、防災教育の推進に努めています。

また、東京都が策定した「学校危機管理マニュアル」では、学校の避難訓練は、『多様な状況や方法を想定して実施すること』とされ、「地震や火災、風水害等の規模や設定日時を工夫すること」や「設定日時又は時刻を予告しない方法」、「児童・生徒を保護し、学校に残留せざるを得ない状況になった場合の訓練」や「教職員による避難所の管理運営を想定した訓練」などの留意点が設定されています。

本校では、これまでに地震や火災を想定した訓練を、午前や午後など設定を変えて実施しました。また、首都直下地震等で学校に残留せざるを得ない状況を想定し「宿泊防災訓練」を行いました。実施後には、訓練の内容や、教職員一人一人の役割分担や協力体制について評価を行い、次の訓練に反省点を反映させて改善を繰り返しています。

10月には、これまでの評価・反省を踏まえ、二次避難場所への3つの教育部門（就業技術科・肢体不自由部門・大塚ろう学校 永福分教室）が合同で行う避難訓練を実施予定です。400名を超える児童・生徒を安全に避難させるため「One Team」での取組を進めていきます。

最後になりますが、都内では9月には異例のインフルエンザ流行注意報が発表されました。児童・生徒、教職員の健康管理と基本的な感染防止対策を心掛けて参ります。

肢体不自由教育部門 副校長 安田 泉

※両部門の児童・生徒に、1回目の「仲間との関わり方」についてのアンケートを実施しました。それを基に、本校の取組をホームページ内の保護者専用ページに掲載します。御家庭と連携して取り組んでいきたい内容もありますので、ぜひ御覧ください。

保護者専用ページのパスワードは、4月25日付のマチコミメールでお知らせ済みです。



One School!! One Team!! 2023



One Teamでの防災・避難訓練を！！

本校は、火災、震災に加えて、不審者対応、Jアラートなど、あらゆる場面を想定するとともに、そのすべての訓練を就業技術科、肢体不自由教育部門、大塚ろう学校 永福分教室の3つの教育部門合同で実施しています。訓練を実施する上で重要なことは、確かな情報収集を基に本部が適切な判断をして、全校に指令、伝達をすることです。つまり、児童・生徒にとっての訓練であるとともに、我々教職員一人一人が上記のことを実践できるように、高い防災意識をもって訓練に臨むことこそが「この学び舎で学ぶ、全ての子供たちの安全を守る」ことへの実現に繋がると信じています。さて、今月の8日（金）～9日（土）にかけて、今後30年以内に起こると言われている「首都直下地震」を想定した宿泊防災訓練を実施しました。One Teamで取り組んだ防災学習や訓練の様子をご覧ください。

【就業技術科】

2学年の生徒74名が宿泊防災訓練に参加し、断水時のトイレの使用方法について学んだり、仲間と協力して教室内に生活スペースを作ったりして生活しました。また、寝床や食事に必要なダンボールや毛布、鍋や皿などの物資を、「職業に関する専門教科」のコースで分担して準備、運搬しました。

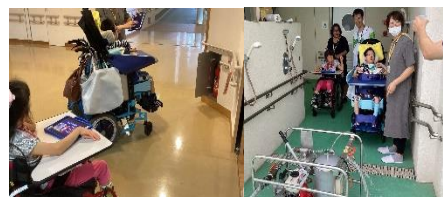
2日間の訓練をとおして、避難所での生活を知ると共に、お互いに助け合うことの大切さや、自らができることを率先して行う意識も高まったと思います。【主任教諭 空閑 充】



【肢体不自由教育部門】

小学部から1名、中学部から1名の計2名と保護者各1名ずつの計4名が参加しました。防災オリエンテーリングでは、校内に配置されている消火器の位置や数を確認したり、発災時に水道や電気等のライフラインがストップした際の対応について、実際の機器を稼働させたり実物を見たり触れたりしながら体験しました。厳しい状況下でも少しでも快適に生活するための備えがあることを知り、防災への意識が高まったことと思います。

【主任教諭 山田 晴信】



【大塚ろう学校 永福分教室】

小学部6年生の2名が宿泊防災訓練に参加しました。避難所生活で使うことを想定したパーテーションを段ボールで作成したり、夕飯・朝食では非常食を用意したりしました。想像していたよりも作成や準備が大変で、普段の生活のありがたさを改めて実感したようです。また永福学園のお兄さん、お姉さんたちの訓練中の様子も見させていただき、お互いを知るよい機会となりました。今回の訓練を通して、児童・教員共に、より一層防災意識を高めることができました。【主任教諭 薙沢 智恵】



★編集後記★

右の写真は、宿泊防災訓練の一場面である3つの教育部門合同で実施した交流防災学習「避難所見学会」です。各部門の代表者が、自分達の学習エリアや、避難所スペース、部門ごとの特徴について説明しました。保護者の方にも御参加いただき、訓練のねらい達成以外にも多様な価値観を学び、尊重し合っている場面が見られました。

このような訓練（学習）をとおして、永福学園は、更にOne Teamとしてバージョンアップした教育をすすめていきます。

主幹教諭：福田 崇



東京都立永福学園

副校長 秋本 友美 山崎 裕之 安田 泉
主幹教諭 池田 佳信 池田 奈央子

〒168-0064

東京都杉並区永福1丁目7番28号

電話 03-3323-1380 FAX 03-3323-1381

<https://eifuku-sh.metro.ed.jp/site/zen/>